

令和3年度 下妻市の予算

令和3年第1回市議会定例会(3月議会)で、下妻市の令和3年度当初予算が決まりました。一般会計の予算額は、182億7,000万円で、前年比9.34%の増。特別会計と公営企業会計を合わせた予算の総額は309億4,874万円で、前年比5.75%の増となっています。この特集では、第6次下妻市基本計画に基づいた主な予算について紹介します。

令和3年度 市長施政方針

持続可能なまちづくりの

実現に向けて



下妻市長 菊池 博

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化する中、感染症対策の最前線で日夜奮闘をされている医療従事者や介護関係者の皆様、感染拡大防止にご協力をいただいている市民や事業者の皆様に、改めて敬意と感謝を申し上げます。

今後開始予定の新型コロナウイルスワクチンの接種につきましては、2月10日に「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を保健センター内に設置したところであり、全力で準備に取り組んでまいります。

さて、令和3年度は、市長就任から4年目となり、一期目の最終年度を迎えようとしています。これまで、市政運営については、常に「連携」「スピード感」「見える化」を課

題解決のキーワードとして、さまざまな行政課題に取り組んでまいりました。

まず、住環境の面では、保育所等の待機児童の解消に向けた少人数を対象とする家庭的保育事業の開始、都市計画道路・南原平川戸線の開通などを実施することができました。民間活力の面では、エスティローダーカンパニーなど大手企業3社の進出決定によるしもつま鯨工業団地の完売、PayPay、大塚製菓などとの包括連携協定により公民連携のまちづくりを強化してまいりました。

また、災害の備えとしては、防災行政無線を補完する屋内受信機の導入や総合体育館及び千代川体育館へのエアコン設置、市庁舎等整備工事の発

注、下妻市公式LINEの運用を開始しております。

さらには、子育て世代・高齢者応援券事業「しもつまエール2020」をはじめ、地域経済の活性化を図ることを目的としたプレミアム付商品券事業などを迅速に進めてまいりました。

5つの基本方針

令和3年度においても、市長就任時に掲げた5つの政策である「市民が主役のまちづくり」「元気な下妻づくり」「子育て・教育環境の向上と高齢者・障害者にやさしい地域づくり」「安心・安全なまちづくり」「行財政改革の推進」を進めることにより、下妻に住みたい、住み続けたいと思う持続可能なまちづくりの実現に

法の拡充を図ってまいります。

第4 安心・安全なまちづくり

消防体制の充実・強化では、建築から50年以上が経過し、老朽化や耐震化が課題となっている下妻消防署について、安全・安心を確保できる新たな下妻消防署の建設場所をハザードマップや将来を見据えた消防施設の再配置計画などを考慮し、候補地の具体的な検討を進めてまいります。

第5 行財政改革の推進

令和2年度に実施したクラウドファンディング型ふるさと納税においては、「災害を乗り越え、川と街の魅力をサイクリングでつなぐまちづくり」をテーマに目標額を達成したところであり、今後、サイクルリングのまちづくりに取り組んでまいります。

また、限られた財源や職員で、市民の多様なニーズに応えるためには、行政手続の手法や職員の働き方を大きく見直す必要があります。市役所に提出する申請書類等への押印の義務付けを見直すほか、

再生コンパクトシティモデル事業では、街なか案内板や遊歩道の街路灯などを整備してまいりました。また、令和2年度に策定した下妻市環境アクションプランでは、重点事業として砂沼の環境とゼロカーボン達成に向けて求められる地域循環共生圏の実現に向けたバイオマス活用を選定しております。

産業の振興では、引き続き基幹産業である農産物のブランド化や梨・米・メロンなど農産品の海外輸出、6次産業化を積極的に推進するとともに、これまで誘致してきた企業へのアフターケアなどを実施し、農・商・工のバランスある発展を図ってまいります。

また、将来的な産業用地の確保に向けて、圏央道の利便性が考慮されるエリアを中心に、具体的な開発手法や企業進出の可能性にかかわる調査等に着手し、新たな産業用地の確保に努めてまいります。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連したホストタウン事業につきましては、選手

また、令和3年度では、千代川地区においてコミュニティバスの短期実証運行を実施するとともに、高齢者福祉タクシー助成券における使用方

人口知能「AI」及びロボットによって定型業務の自動化を行う「RPA」の導入を検討し、業務の効率化と市民サービスの向上を図ってまいります。

次に、社会情勢の変化に対応した公共施設マネジメントを推進し、「選択と集中」による施設の老朽化対策及び公共用地の活用を進めてまいります。

以上、令和3年度の市政運営の軸となる5つの基本政策について述べさせていただきましたが、これらの政策を、積極的かつスピード感を持って実現すべく「アクション下妻」を基本姿勢に掲げ、職員と一丸となって取り組む所存であります。活力にあふれた下妻市が多くの人々に愛され、住む人の誇りとなり、市民の皆様が「住んでよかった」と思える「持続可能なまちづくり」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、皆様には、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年第1回下妻市議会定例会(令和3年3月3日)

(一部抜粋)